

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：ジェンダーとセクシュアリティ ILAS Seminar: Gender and Sexuality			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 教授 田中 雅一 生態学研究センター 教授 山内 淳 医学研究科 特定助教 栗屋 智就		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2018・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	男女共同参画推進センター会議 室(医・薬・病院構内)		使用言語	日本語	
キーワード	進化 / 発達 / 文化 / 宗教 / 結婚						
<b>[授業の概要・目的]</b>							
自然科学とともに、社会科学・人文科学を含む学際的な視点から、ジェンダーやセクシュアリティ問題について多面的に考察を加える。講師のレクチャーおよび討論を通じて、ジェンダーとセクシュアリティについての基礎知識や考え方を身につけることを目的とする。							
<b>[到達目標]</b>							
ジェンダー、セクシュアリティの視点について基礎的知識を習得する。 文化、家族、社会との関係でジェンダーやセクシュアリティの問題について自らの視点を獲得する。							
<b>[授業計画と内容]</b>							
以下の課題について、1課題あたり3～5週の授業を行う。							
第1回 ジェンダーとセクシュアリティセミナーについての概論(田中 雅一)							
第2回～第4回 医学の視点から考えるジェンダーとセクシュアリティ：ヒトの性分化、男女差の脳科学(栗屋 智就)							
第5回～第8回 生物進化から考えるジェンダーとセクシュアリティ：性の意義、性の特性、雌雄差(山内 淳)							
第9回～第13回 文化人類学の視点から考えるジェンダーとセクシュアリティ：結婚、売春(セックスワーク)、宗教(田中 雅一)							
第14回 総括(栗屋 智就)							
<b>[履修要件]</b>							
特になし							
<b>[成績評価の方法・観点及び達成度]</b>							
成績評価は、討論への参加状況などに基づき、平常点で評価する。							
<b>[教科書]</b>							
使用しない							
<b>[参考書等]</b>							
(参考書) 授業中に紹介する							
<b>[授業外学習(予習・復習)等]</b>							
講師の指示に従い、講義前・後の小レポートを提出する。 講義内に行なわれる発表日には、各自、準備をして発表報告を行なう。							
<b>[その他(オフィスアワー等)]</b>							
「学生教育研究災害傷害保険」等の傷害保険へ加入すること							